

1. コンプライアンスの基本体制

当社はコンプライアンス体制強化を進めるとともに、法令や企業倫理の遵守だけでなく、全てのステークホルダーの正当な期待にこたえるため「行動規範」と「行動指針」を定義し、これを基本原則として、当社内にとどまらずフランチャイズチェーン加盟法人に対してもコンプライアンスの徹底及び啓蒙活動を推進しています。

また、役員及び従業員の不正行為や倫理から外れた行動の未然防止・早期対処などを目的とした通報制度である「オレンジホット

ライン」(グループ内通報制度)を社内及び社外窓口を設置し、運用しています。

さらにコンプライアンスに対する意識の浸透度や内在リスクの把握のため、定期的にコンプライアンス意識調査を行っています。

■ オートバックスセブングループ行動規範と行動指針

<http://www.autobacs.co.jp/ja/csr/koudoukihan.html>

2. 商品の品質活動

当社が販売元であるPB*1商品はもとより、NB*2商品についてもメーカーや仕入先と連携し、商品本体や商品使用時の適法性及びPL法に基づく消費者保護の観点など、多面的な商品の管理を行っています。

またPB商品については、規程に基づき品質を管理するとともに、品質の安定化を目指し、世界的に広く採用されている合格品質基準(AQL=Acceptable Quality Level)に基づいて検査を行っています。

に、品質の安定化を目指し、世界的に広く採用されている合格品質基準(AQL=Acceptable Quality Level)に基づいて検査を行っています。

*1 PB: プライベートブランド

*2 NB: ナショナルブランド

3. 環境マネジメント

地球規模における環境問題は人類の共通課題であり、対応が不可欠です。

当社グループにおいても、環境に関する取り組みが社会への貢献につながるものとし、環境負荷の少ない事業活動を推進するために、豊洲本社においてISO14001の認証を取得し、環境方針に基づいた環境活動を行っています。

今後も順次、認証の範囲を広げるなど、環境に関する取り組みを強化していきます。

オートバックスセブン 環境方針(抜粋)

オートバックスセブンにおける事業活動が与える環境影響の中で、特に以下の項目について優先的に取組みます。

- (1) 省エネルギーの推進と温室効果ガス排出量の削減
- (2) 廃棄物の最終埋立処分量の削減
- (3) 環境に配慮した商品の購入

■ オートバックスセブン環境方針

<http://www.autobacs.co.jp/ja/csr/reduction.html>

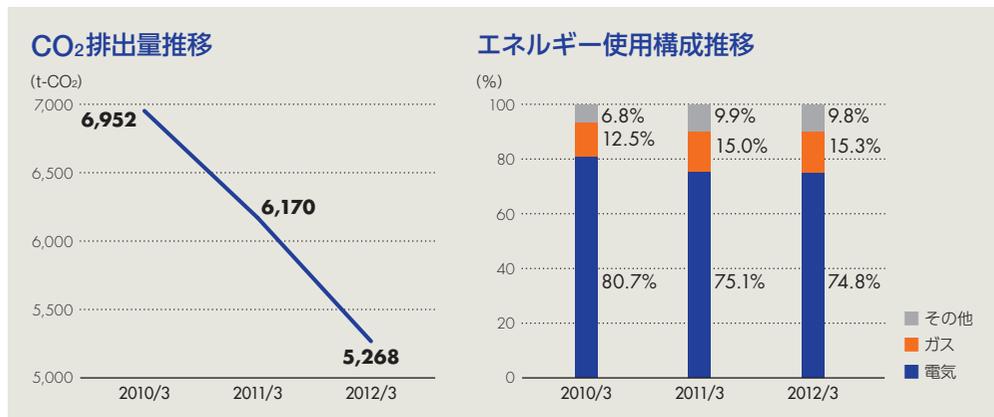
4. 省エネルギーの推進と温室効果ガス排出量の削減

2012年3月期における当社のCO₂総排出量※は5,268t-CO₂となりました。

当社では事業活動に伴うエネルギー使用量及びCO₂発生量の削減に取り組んでおり、各事業所での徹底した節電はもとより、省工

ネタイプ設備への入れ替えを順次行っています。またCO₂削減の取り組みとしてロジスティクスセンターにおける商品の一部輸送に、鉄道コンテナ輸送を取り入れています。

※オートバックスセブン本社、地方事業所、直営店舗、ロジスティクスセンターにおけるCO₂排出量の合計



5. 廃棄物の削減とリサイクルの推進

2012年3月期における当グループのレジ袋やPB商品のパッケージなどの容器包装類使用量は343tでした。

容器包装類を削減するために、レジ袋については店舗での声掛

けなどを、お客様にご理解・ご協力いただきながら行っています。また当社PB商品のパッケージについては、順次、軽量化や材質の見直しなどを図っています。

6. 社会貢献活動

【清掃活動】

当社では、2003年3月期から毎年、富士山麓の青木ヶ原樹海周辺の清掃をボランティア活動として行っています。また、身近な清掃活動として、2006年3月期より本社周辺の清掃活動を行い、2010年3月期からは、フランチャイズチェーン店舗でも週1日を「オートバックスデー」として店舗周辺の清掃を行っています。



富士山麓での清掃活動

【その他の活動】

- ・職業体験テーマパーク「キッズニア」への出展
- ・ARTA (AUTOBACS RACING TEAM AGURI)の運営



「キッズニア」へのパビリオン出展



ARTA (AUTOBACS RACING TEAM AGURI)